

県観光功労団体表彰受賞！ まちづくり観光協会が観光振興へ貢献

長年にわたり町の観光振興に取り組んできた（一社）苅田まちづくり観光協会が、令和7年度の県観光功労団体表彰を受賞しました。これは、体験型観光ツアー「しっちゃんかん苅田」の企画や地元企業・大学・行政等と連携した白石海岸の清掃活動など、多様な団体と連携した魅力あるまちづくりへの取り組みが評価されたものです。2月9日には、同協会の野中代表理事と片神事務局長が町長を表敬訪問し、受賞の喜びを報告しました。



文化財防火デーに消防訓練を実施 火災想定で訓練でドローン活用

1月26日、文化財防火デーに合わせて、苅田町消防本部が宇原神社で消防訓練を行いました。訓練は、神社付近での火災発生を想定。消防隊はドローンで上空から状況を把握し、その情報を基に放水箇所を的確に指示しました。また、神社関係者は重要文化財を安全な場所へ運び出す手順を確認しました。今回の訓練は、最新技術の活用と関係機関との連携により、貴重な文化財を災害などから守るための実践的なものとなりました。



苅田町食材の新たな一歩 地元出身シェフが等覚寺加工場を視察

1月26日、ホテルインターコンチネンタル東京ベイ 鉄板焼「匠」の料理長である馬原雄一シェフをはじめ、福岡県福岡の食販売促進課、福岡県東京事務所、苅田まちづくり観光協会、苅田町などの関係団体が、等覚寺特産品加工場を訪れ、加工場の視察と地元食材の試食会が行われました。

加工場では、味噌づくりの工程を見学し、加工場代表者から伝統的な製造方法や素材へのこだわりについて詳しい説明を受けました。

その後、当日朝に加工場で練られた新鮮な味噌を使った味噌汁や漬物、等覚寺産の米のほか、地元企業が自家栽培した紅はるかを使用した干し芋など、多彩な地元食材の試食会が開かれました。参加者からは「素材本来の味が引き出されている」などの感動の声が上がり、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

苅田町出身で、ふるさと納税の返礼品で地元食材を使ったコースメニューが注目を集めている馬原雄一シェフは「これからも地元の素材を生かした食の開発を通じて、京築地域の魅力を全国へ発信していきたい」と語り、地元食材の可能性に期待を寄せました。

まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

片島小 青少年健全育成アワード表彰 地域に根ざした活動が評価！

2月9日、福岡県庁で福岡県青少年健全育成アワード2025の表彰式が行われ、片島小学校「緑の少年団」が服部知事から表彰状を授与されました。緑の少年団は2013年の設立以来、児童が主体となり、学校の花壇整備や河川の水質調査、清掃活動など、多岐にわたる環境美化活動を展開しています。片島地区水と緑の里保全組合との連携も深く、未来を担うこどもたちの地域貢献活動が「模範青少年部門」で高く評価されました。



電子図書サービスも定着 町立図書館2連覇の受賞

電子図書サービス



苅田町立図書館の電子図書サービスが、電子書籍流通会社(株)メディアドゥ主催の企画「Library Move Forward2025」にて人口2万～7万未満の市町村の中で、利用率が1位となり表彰されました。2023年に続き2回目の受賞です。図書館に来館することが難しい利用者を含むすべての利用者に、多くのコンテンツを届けられるよう様々なジャンルの電子書籍を用意しています。ぜひ電子図書サービスをご利用ください。



KANDA 天神かぐら団が 「神楽人の祭展」で神楽を披露

京築7市町の自治体と神楽団体が構成されている神楽の里づくり推進協議会が主催する「神楽人の祭展」が、1月24日にコスメイト行橋で開催されました。この公演は本年で11回目を迎えるもので、京築各市町の神楽団体が地域で大切に継承されてきた神楽を舞うイベントです。本町からは、町内の神楽団体であるKANDA 天神かぐら団の皆さんが「大蛇」という演目の神楽を披露し、会場を大いに沸かせていました。



(株)未来キャスティングホールディングス マラソン大会に向け町に温かな支援

1月7日、(株)未来キャスティングホールディングスが町長を訪れ、3月8日に白川地区で開催される「第40回苅田町民ふれあいマラソン大会」に役立ててほしいと、同社から寄付をいただきました。このご支援に町長は「地域の皆さまの交流を深めるこの大会を、皆さまとともに盛り上げていきたい。ありがとうございます」と述べました。いただいた寄付金は、大会の運営に大切に活用させていただきます。

